

令和 7 年度地球温暖化防止効果について

令 和 8 年 8 月

農 林 水 産 省

第3期における地球温暖化防止効果測定手法の方針

- 地球温暖化防止効果については、地球温暖化防止効果を目的とした各取組について、単位当たり温室効果ガス削減量（tCO₂/ha/年）×実施面積（ha）で算定。
- 第3期から、主作物が水稻である場合はメタン排出削減対策を合わせて実施することとしたことから、その分の温室効果ガス削減量も算定。
- 各取組の単位当たり温室効果ガス削減量については、以下の方針により算定。（詳細別紙）

取組の分類		第3期における地球温暖化防止効果測定手法の方針	第2期評価手法からの主な変更点
全国共通取組	・ 有機農業	・ 第2期評価において算定した「単位当たり温室効果ガス削減量」を使用	（変更なし）
	・ 堆肥の施用 ・ 緑肥の施用	・ 第3期対策での制度見直しを踏まえ、第2期評価において算定した「単位当たり温室効果ガス削減量」を補正して使用	・ 第3期から堆肥の最低投入量を引き下げたことを踏まえ、「単位当たり温室効果ガス削減量」を下方修正 ・ 第3期から「カバークロップ」「リビングマルチ」「草生栽培」を「緑肥の施用」に一本化したことを踏まえ、それぞれの実施面積割合に応じて「単位当たり温室効果ガス削減量」を補正
	・ 炭の投入	・ 第2期評価において算定した「単位当たり温室効果ガス削減量」を使用	（変更なし）
メタン排出削減対策	・ 長期中干し ・ 秋耕 ・ 湛水不実施 ・ 稲わらの秋搬出（北海道） ・ 稲わら腐熟促進資材（山形県）	・ 標準的なメタン排出量と、取組によるメタン削減率の文献値を用いて算定 ・ 標準的なメタン排出量は、インベントリにおける直近（2023年度）の地域毎の値を使用 ・ 長期中干しによるメタン削減率は、第2期評価で用いた文献値を継続して使用 ・ 秋耕によるメタン削減率は、「農地土壌炭素貯留等基礎調査」に基づく値を新たに採用 ・ 湛水不実施によるメタン削減率は、IPCCガイドラインによる削減率を採用 ・ 稲わらの秋搬出によるメタン削減率は、取組実施地域における調査で報告されている文献値を使用 ※IPCCガイドラインに定められていないため、参考値としての扱いとする ・ 稲わら腐熟促進資材の利用によるメタン削減率は、取組実施地域における調査で報告されている文献値を使用 ※削減率の研究事例が少ないため、参考値としての扱いとする	・ 秋耕によるメタン削減率の文献値について、日本各地のデータ解析に基づく値から、農業環境対策課が実施した「農地土壌炭素貯留等基礎調査」に基づく値に変更 （湛水不実施、稲わらの秋搬出は第3期からの新規取組）

令和7年度地球温暖化防止効果の評価

【地球温暖化防止効果】

全国共通取組：有機農業、堆肥の施用、緑肥の施用、炭の投入

地域特認取組：樹脂製被膜を用いない緩効性肥料の利用及び長期中干し（滋賀県）

メタン排出削減対策：長期中干し、秋耕、湛水不実施

それぞれ算定手法に基づき地球温暖化防止効果を算定。全国共通取組と併せて実施されたメタン削減対策の算定手法は確立されていないため参考試算とする。

対象取組の種類		単位当たり 温室効果ガス削減量 (tCO ₂ /ha/年)	令和7年度 実施面積 (ha)	温室効果ガス 削減量 (tCO ₂ /年)
全国 共通 取組	有機農業	1.04	16,331	16,984
	堆肥の施用	1.21	23,742	28,728
	緑肥の施用	2.00	19,493	38,986
	炭の投入	1.31	715	937
地域 特認	樹脂製被膜を用いない緩効性肥料の利用及び長期中干し（滋賀県）	1.42	2,751	3,906
			合計	89,541

対象取組の種類		単位当たり 温室効果ガス削減量 (tCO ₂ /ha/年)	令和7年度 実施面積 (ha)	温室効果ガス 削減量 (tCO ₂ /年)
メ タ ン 対 策	長期中干し	2.63	22,134	58,212
	秋耕	0.91	19,247	17,515
	湛水不実施	2.82	186	525
			合計	76,252

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計は一致しません。

※「長期中干し」、「秋耕」及び「湛水不実施」の取組は、地域ごとの削減量を面積で割り戻した値です。

令和7年度地球温暖化防止効果の評価

【地球温暖化防止効果】

地域を限定したメタン排出削減対策：稲わらの秋搬出（北海道）、稲わらの腐熟促進資材の施用（山形県）

それぞれ算定手法に基づき地球温暖化防止効果を算定。いずれも研究事例が少なくIPCCガイドラインにおいて方法論が設定されていないため参考試算とする。

< 参考試算 >

地域を限定したメタン対策	対象取組の種類	単位当たり 温室効果ガス削減量 (tCO ₂ /ha/年)	令和7年度 実施面積 (ha)	温室効果ガス 削減量 (tCO ₂ /年)
	稲わらの秋搬出（北海道）	6.69	7	47
	稲わらの腐熟促進資材の施用（山形県）	2.90	749	2,172

※稲わらの秋搬出：研究事例が少なく、IPCCガイドラインにおいても方法論が設定されていないため参考値。

※稲わら腐熟促進：研究事例が少なく、IPCCガイドラインにおいても方法論が設定されていないため参考値。